

交換留学(派遣) 帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後、1ヶ月以内に写真データと一緒にメールで提出してください。



あなたの情報(本報告書を開覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	University of Galway
留学先での所属学部・研究科:	Occasional Arts
留学先での在籍身分:	International student
留学期間:	27/08/2023-27/04/2024
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	3年
帰国日:	27/04/2024
本報告書記入日:	07/05/2024

1. 留学先大学について

1-1	受入許可書(Acceptance Letter)を貰えた日	6月 1日
	参加必須のオリエンテーション日	8月 30日
	学期:	① 9月 1日～ 12月 15日
		② 1月 8日～ 5月 4日
③ 月 日～ 月 日		
	④ 月 日～ 月 日	
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入してください。	
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	
	語学面でのサポート:	学期が始まる前にスピーキングやライティングを無料で受けられる授業があった。
	勉強面でのサポート:	コース毎に基本的にチューターがついており、学生の授業理解やアサインメントを手伝ってくれる機会があった。わからないことがあるときには、積極的に利用していた。
	精神面でのサポート:	私の寮では、いつでもそのようなサポートを受けられる環境が備わっていた。
	住居・生活面でのサポート:	迅速に対応してくれるイメージ。私の寮は新築で不具合やトラブルが起きることが多かったが、当日もしくは翌日にはメンテナンスチームが補修に来てくれた。
	課外活動のサポート:	ほぼ毎日?かのように大学からメールでイベントや課外活動の案内がある。
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	クリックで別シートへ

2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	深刻な住居不足で全員が寮に入れるわけではない。しかし、生活を通して、寮での生活が快適で絶対的によいと感じたので2ヶ月くらいからホームページで寮の申込みをすませることを薦める
-----	--------------------------------------	--

3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	私の住むDunlin VillageはWifiの接続が悪かった。たまに、就活の面接中に途切れることがあった。しかし、寮側は改善を試みている。
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	良好。たまに、接続過多で繋がらなかった。
3-2	医療について	おそらく無料で大学の診療所があったような気がする。薬は処方してもらえらしい。
	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	いいえ。日本からの総合感冒薬で対処していた。健康管理については非常に格安でジムに通えるのでジムに行きましょう。
3-3	銀行口座等について	開設はしていない。
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	日本で作っていたデビットカードですべて生活できた。

4. 経費について(奨学金、留学費用)

4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	
	支給額(円/月):	
	その他(渡航費等の支給):	
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	240,000 円
	住居費:	(月額) 137,500 円 × (留学月数) 8 カ月 = 1,110,000 円
	食費:	(月額) 40,000 円 × (留学月数) 8 カ月 = 320,000 円
	保険料:	90,000 円
	その他:	430,000 円
	合計(留学期間全体の費用):	2,000,000 円

5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	アイルランド人はお酒が大好きなのでパブカルチャーが根強い。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	ジムのサウナやパブでたまに話す程度。日本人よりは絶対的にフレンドリー。
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	していない。
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	日本と同等、又それよりかは安全で日本人より親切。事件は留学中1回も聞いたことない。財布落としたら拾ってくれるような国。差別は1度も受けたことがない。

6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	した。ポスカリには参加していないが、同じCFNが主催しているオンライン完結の選考を受けていた。

7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	大学のサイト、先輩たちの体験記
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	総合感冒薬、調味料
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	語学力、物事を多面的に捉える力、自信
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:(IELTS) 6.0 点 → 帰国後:() 点
7-4	振り返って見て、何が最大のトラブルでしたか。	前期のテスト前に高熱を出し、毎日面接とテスト勉強に取り組んだ時。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	適切でした。有難う御座いました。
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	薦める。日本にいるときよりも常に主体的に考え、行動することが求められる。これによりハード、ソフト面問わず自身を成長させることができると感じるから。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えください。	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	4
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	5
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	5
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	3
	・全体として留学に係る費用は安かったかと思いい、満足しましたか	3
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	4
・留学全体の総合的な評価	5	

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)		
<p>留学に行こうかと検討している皆さんが気になるであろう、語学力の向上、遊び・旅行、就活、専門性の向上の4つの項目についてゴールウェイ大学でいかに実現できるかを述べたいと思う。</p> <p>【語学力の向上】 英語力は伸ばしやすい環境にあると思う。他のKIBERのヨーロッパ諸国の留学先と比べた時に、アイルランドは英語が母国語の国なのでもちろん常に英語に触れられるし、日常生活でほかの言語に触れてストレスに感じることはない。また、アイルランドの中でもゴールウェイはほぼ全くと言っていいほど訛りがなく、聞き取りやすい英語を話す人が多いのが利点の一つでもある。しかし、語学力を向上させるためには、意識的に英語を話す環境を少なくとも自ら作り出すことは求められる。ゴールウェイ大学には世界中の色々な国の留学生が集まっており、その機会は十分に備わっていると考える。</p> <p>【遊び・旅行】 双方向いていない。遊びに関しては、アイルランド人は酒しか興味ないのでパブしかない。あと、クラブ。最近では、コロナ禍で閉まっていたゴールウェイ1大きいクラブが再開したので盛り上がっている。night lifeが好きなお人々にはおすすだ。私は別に好きでもなかったのにジムとサウナくらいしか娯楽がなかった。旅行に関しては、自然が好きなお人々にはおすすだ。ただ、それも崖や平原である。首都のダブリンもパブとクラブしかなく、ほぼ観光地はない。私は、ダブリン以外1度もアイルランドの観光をしたことがなく、皆から引かれた。それ以外のヨーロッパ諸国への旅行も、土地柄飛行機を利用しなければならない。めんどくさいが、格安航空を利用すれば安いときは20-30€でどの国でも回れるので費用的には問題ない。他のヨーロッパ諸国の留学先と比べて、遊びや旅行には向いていないが、それでも街はいつも賑やかで楽しく、都会の日本から離れてのんびり自然豊かなゴールウェイで過ごすことはとても楽しかった。</p> <p>【就職活動】 留学と就活の両立は難しいと思う。なので、1年卒業を遅らせることがベストだとは思っている。しかし、両立は可能だ。留学1つとっても、英語の勉強、遊び、課題などやることが多いが、そこに就職活動特レベルを高いところを目指すとなるとかなり負担が大きい。私はポスカリ・ロンキヤリにはいかなかったが、友人は当時その準備に追われており、かなり忙しそうだった。また、私もCFN経由でオンライン完結で選考を受けていた。基本的に深夜か朝に面接で私はよく深夜の1-3時で面接を行っていたので中々英語の勉強や学習にフルコミットするのが難しかった。ゴールウェイ大学に関しては、他の留学先と比べて学期が終わるのが早く5月上旬には帰国するので、日本の普通の本選考にも間に合わせることは可能である。</p> <p>【専門性の向上】 マーケティング系を専門にしている人にとっては良い環境にあると思う。開講科目が多く、自身の興味のある分野を突き詰めて学習できる点や会計やファイナンスなどの科目に比べてグループプロジェクトが多い点が魅力に感じた。その他の学部の特長として、経営学に付随した統計や情報分野の科目が多く履修可能であることだ。逆に、会計系の科目はあまり豊富にある印象はない。全体の学部の印象として、マーケティング系の科目以外は神戸大と同じような先生の話を聞いて課題をこなすというような授業形式であり、グループプロジェクトをばりばりこなしたい人にとってはゴールウェイ大学は不向きに該当するかもしれない。</p> <p>8か月間、アイルランドのゴールウェイに留学したが本当に選んでよかったと感じる。確かに日本や他の留学先と比べた時に、遊びの選択肢が多くなかったり田舎と感じることがあったが、もう今後一生住むことがないであろうアイルランドの田舎で現地の文化に浸り、心優しい現地の人達の会話を楽しみ、自分のやりたいことを自然豊かな場所でのびのびと突き詰めることは人生で大きな財産になった。私は日本にいた時よりも心が穏やかになった気がする。なので今よりも心がきれいになりたい人、英語力を上げたい人、お酒が好きな人、この中で1つでも当てはまればゴールウェイへの留学を検討してみたい。</p>		

9-1	あなたの報告書の一部を引用して、本学の印刷物やウェブサイトに掲載することに同意しますか？	はい
9-2	あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-3	学部のウェブサイトに報告書を記載します。留学を検討している経営学部生があなたに連絡を取る事に同意しますか？	はい

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	授業で の使用 言語	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等の成績評価 についてアドバイスも含めて教え てください
1	Principles of Microeconomics	Breda Lally	2	5ECTS		200	30% mid-term exam, 70% final exam 過去問とtutorialの問題を重点的に復 習するとよい。
2	Irish Economic History	Aiden Kane	2	5ECTS		40	30% essay, 70% final exam 先生が指 示してくださる過去問をやりこむ
3	Mathematics for Economics	Julian Worley/ Luis Garcia	2	10ECTS		100	40% continuous assesment, 60% final exam 毎回の課題をしっかりとこなせば 取れる
4	Marketing Principles	Dzmitry Brychkov	2	5ECTS		40	30% mid-term exam, 70% final exam 授業資料を理解し、過去問に取り組 む
5	Statistics for Data Science 1	Nicola Fitz- simon	2	5ECTS		100	40% continuous assesment, 60% final exam 毎回の課題と過去問を繰返し 復習
6	Principles of Macroeconomics	Sharon Walsh	2	5ECTS		200	30% mid-term exam, 70% final exam 過去問とtutorialの問題を重点的に復 習するとよい。
7	Statistics for Economics	Matthew Collins	2	5ECTS		100	25%×4 CA 毎回の課題やグループ プロジェクト、試験などをきちんとこなす
8	Buyer Behavior Analysis	Robin Canniford	2	5ECTS		40	30% group project, 70% final exam 授 業資料と過去問の復習
9							
10							

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

基本的に神大と同じく講義形式。教科書は大体購入する必要なし。週2回授業。大体最後に2時間の試験があり、手書きのエッセイやMCQsやshort essayなど様々な形式がある。神戸大と異なり、テスト前に1週間テスト週間が設けられ、集中的に勉強することが出来る。2時間のテストは難しいものがあるので、比較的簡単な中間テストやCAでできる限り点数を稼いでおいた方がよい。毎回の課題に詰まったときには、先生やチューターに聞けば懇切丁寧に教えてくれる。特にチューターは教授より距離が近く、わからないことがあればよく質問していた。